

成田空港第2の開港プロジェクト
『新しい成田空港』構想 新貨物地区マスタープラン策定がスタート！
～設計共同体と契約締結～

成田国際空港株式会社は、2025年12月に公募を開始した「『新しい成田空港』構想 新貨物地区マスタープラン策定業務」について、株式会社梓設計・株式会社日建設計・パシフィックコンサルタンツ株式会社の3社で構成された設計共同体と4月27日に契約締結いたしましたので、以下のとおりお知らせいたします。詳細は別紙をご確認ください。

1. 契約相手

梓設計・日建設計・パシフィックコンサルタンツ

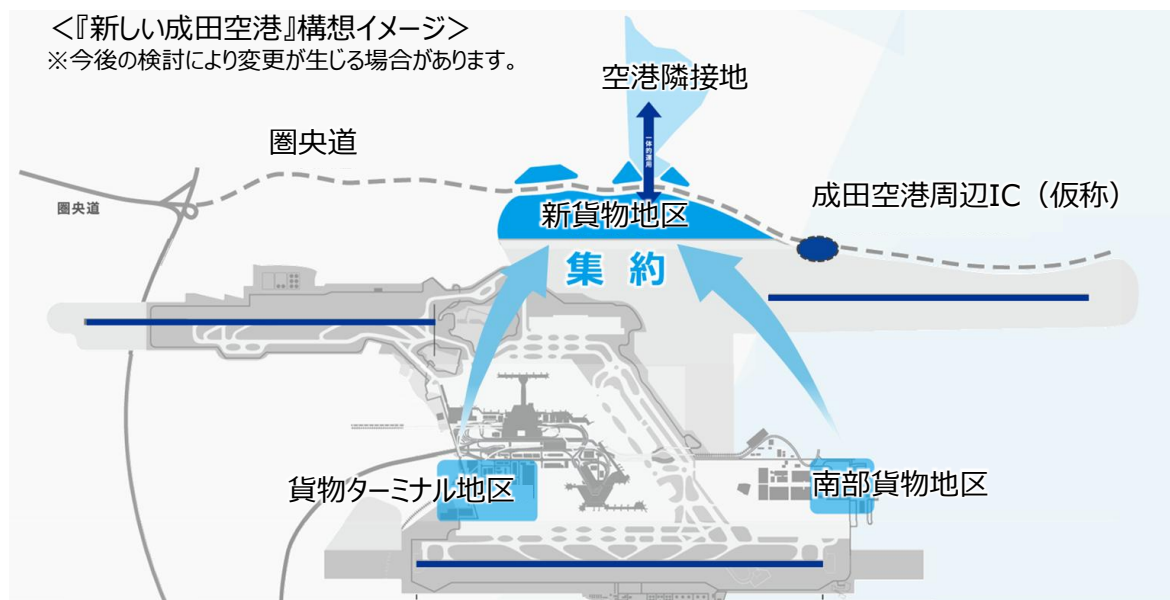
『新しい成田空港』構想 新貨物地区 マスタープラン策定業務設計共同体

2. 業務内容

新貨物地区マスタープランの策定業務

3. 業務期間

2026年4月28日～2027年8月20日



成田空港は、日本の産業経済活動・国民の社会生活を支える一大貿易港であり、かつ、日本及び世界の重要物資を扱う物流戦略拠点です。成田空港第2の開港プロジェクトである新貨物地区の整備構想では、成田空港が国際競争上・経済安全保障上重要な意義を持つこれらの機能を将来にわたって確保し、国際航空物流ネットワークの発展に貢献する「東アジアの貨物ハブ」となることを目指しています。

今般の「『新しい成田空港』構想 新貨物地区マスタープラン策定業務」では、貨物上屋、フォワーダー施設等の関連施設を対象とした、基本ビジョン・運用コンセプト、新貨物地区全体基本計画・配置計画等の検討を行います。

なお、本業務の遂行にあたっては、本年1月20日に立ち上げた「成田空港新貨物地区検討協議会」等を活用し、関係者の皆様の意見を取り入れながら、現状の課題を解決しつつ、世界最高水準の効率性・生産性の実現や、三国間の継越需要の取り込みといった戦略的方向性を具現化できる新貨物地区の計画を行います。また、新貨物地区と隣接地域を一団の土地として総合保税地域化を目指し、一体的な運用も計画することで、荷主・事業者すべてにとって高い価値を提供する持続可能な国際物流拠点づくりを進めてまいります。

<これまでの主な経緯>

- 2022年10月 学識経験者、国、県、地元市町で構成する『新しい成田空港』構想検討会を設置
- 2023年3月 検討会の「中間とりまとめ」を発表
- 2024年7月 計9回にわたる検討会での議論の成果として「とりまとめ2.0」を公表し、当社より国土交通省航空局長へ報告
- 2024年9月 国による「今後の成田空港施設の機能強化に関する検討会」が設置され、第1回検討会（空港ターミナルビルや貨物施設）を開催
- 2025年6月 同 第3回検討会（中間とりまとめ案について）を開催 中間とりまとめの公表
- 2025年12月 『新しい成田空港』構想 新貨物地区 マスタープラン策定業務 公募開始
- 2026年1月 成田空港新貨物地区検討協議会を設立
- 2026年4月 『新しい成田空港』構想 新貨物地区 マスタープラン策定業務 契約締結